

旅行業再生戦略会議 5つの提案

業界の ブランディング/ 広報の強化

- ①旅行業の存在意義を社会に周知
- ②持続可能社会実現への正対
- ③旅づくりを極める
- ④旅行業の強みを活かした事業展開

協調／共創

- ⑤競合から協調と共創へ
- ⑥**システムの共同利用**
- ⑦着地目線での旅行ビジネス展開
- ⑧価格競争から価値競争へ

デジタル原則

- ⑨**DXによる利便性向上と業務効率化**
- ⑩**ツーリズムにおけるデジタル基盤整備**
- ⑪**デジタルを前提とした環境整備**

人財確保／人財育成/ 人財活用

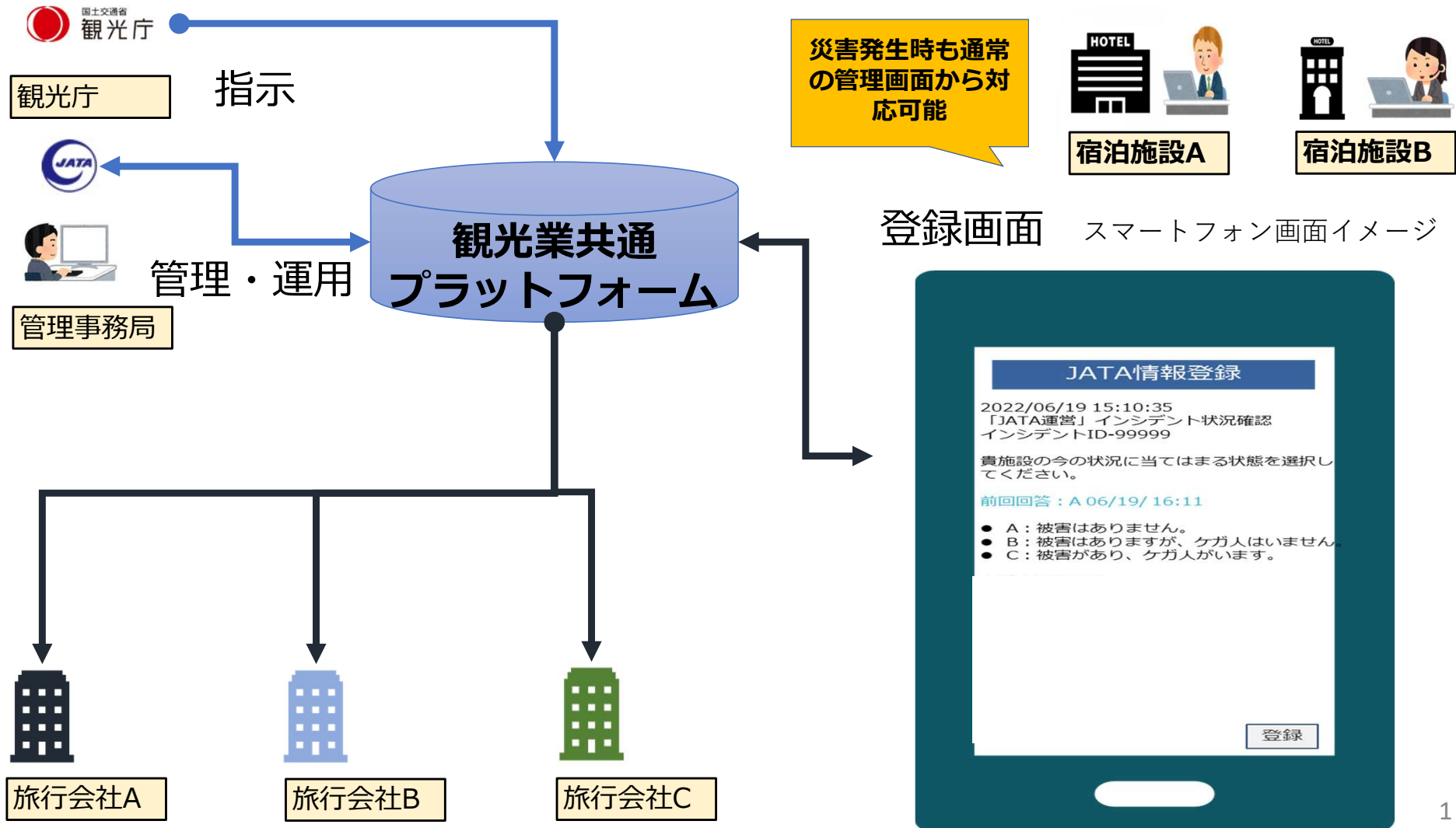
- ⑫旅行業の魅力の周知で人財確保
- ⑬業界の協力体制による人財育成
- ⑭多様な人財の積極活用

レジリエンス

- ⑮記録を保存
- ⑯緊急対策委員会の設置
- ⑰**観光地災害情報の共有システム構築**
- ⑱公的支援の実現に向けた関係機関との連携

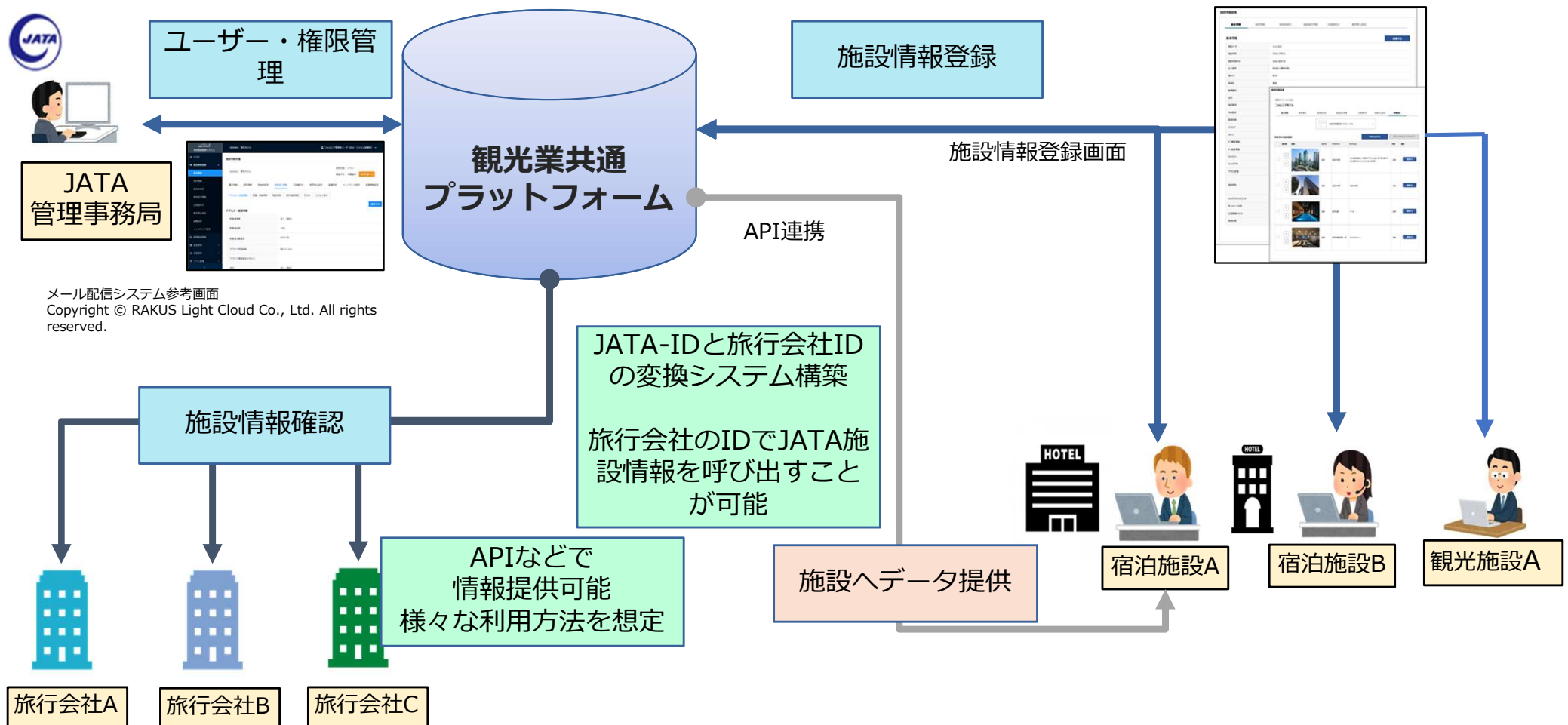
レジリエンス機能 概要

- ①震度5強以上（例）や台風による風水害発生時に、観光庁からの指示をきっかけにJATAより対象エリアにある宿泊施設に対して、被害情報登録を促す。
- ②宿泊施設にて、被害情報を登録する
- ③登録された被害情報を旅行会社で参照できます。



観光関連施設情報データベース機能

- ①宿泊事業者様 観光事業者様にて自施設の基本情報（部屋数 客室タイプ 風呂 食事場所 アメニティ等）の最新情報を登録いただく。情報はゼロからでなく既存の情報に変更があるもののみの登録とする。
- ②登録された施設情報を旅行会社で検索・参照することができる。旅行会社のシステムに取りこみを希望する場合は、API等のインターフェースを用意する。
- ③固定的な情報だけでなく、期限を持った情報（露天風呂改装や紅葉ライトアップ実施中等）の情報も登録でき、旅行会社で参照、または取りこむことができる。



JATA 共通プラットフォーム 管理・運営体制

